

読

Yomiuri
Nippon
Symphony
Orchestra

響

愛の

興奮！躍動するリズムと
哀愁のメロディ

ドヴォルザーク

“炎のマエストロ”小林研一郎が渾身の指揮

DVOŘÁK

SYMPHONY NO.8

WEBER

CLARINETTO CONCERTO No.1

二人の人気者が
“夢の競演”

ウェーバー：歌劇「魔弾の射手」序曲

WEBER: "Der Freischütz" Overture

ウェーバー：クラリネット協奏曲第1番

WEBER: Clarinet Concerto No. 1 in F minor, op. 73

へ短調
作品73

ドヴォルザーク：交響曲第8番

DVOŘÁK: Symphony No. 8 in G major, op. 88

ト長調
作品88

©読響

読売日本交響楽団 第218回土曜マチネーシリーズ
Saturday Matinée Series No. 218

2019年 **7月6日** (土) **14時**開演
東京芸術劇場 コンサートホール (池袋)
Saturday, 6th July 2019, 14:00 / Tokyo Metropolitan Theatre
S¥7,500 A¥5,500 B¥4,500 C¥4,000

読売日本交響楽団 第218回日曜マチネーシリーズ
Sunday Matinée Series, No. 218

2019年 **7月7日** (日) **14時**開演
東京芸術劇場 コンサートホール (池袋)
Sunday, 7th July 2019, 14:00 / Tokyo Metropolitan Theatre
S¥7,500 A¥5,500 B¥4,500 C¥4,000

お申し込み・お問い合わせ

読響チケットセンター 0570-00-4390

(10時～18時・年中無休)

<https://yomikyo.or.jp/>

とろけるような甘い音色と超絶テクニック！

ベルリン・フィルの首席奏者として活躍し、
絶大な人気を誇る世界屈指の名手

アンドレアス・オッテンザマー

Clarinet = ANDREAS OTTENSAMER

(クラリネット)

主催：読売新聞社、日本テレビ放送網、読売テレビ、読売日本交響楽団

共催：東京芸術劇場 (公益財団法人 東京都歴史文化財団)

助成：文化庁文化芸術振興費補助金 (舞音芸術創造活動活性化事業)

独立行政法人日本芸術文化振興会

©Katja Ruge/Decca

小林研一郎 (指揮)

“コバケン”の愛称で親しまれている世界的指揮者。2011年8月から、読響特別客演指揮者の任にある。東京芸術大学作曲科および指揮科を卒業。第1回ブタペスト国際指揮者コンクール第1位。欧州の一流楽団を多数指揮しており02年の「プラハの春」音楽祭では、東洋人として初めて開幕コンサートに招かれ「わが祖国」をチェコ・フィルと演奏。ハンガリー国立響の音楽総監督、チェコ・フィル常任客演指揮者などを経て、日本フィル桂冠名誉指揮者、九響名誉客演指揮者、名古屋フィル桂冠指揮者、群響ミュージック・アドバイザー、東京文化会館音楽監督、東京芸術大学、東京音楽大学、リスト音楽院の名誉教授などを務めている。13年秋の叙勲で旭日中綬章が授与された。オクタヴィア・レコードなどから多数のCDをリリースしている。

KOBAYASHI

人気の名匠と
世界的スターが競演！

《ドイツ&チェコのロマン派名曲選》

79歳を迎え、円熟味を増している“炎のマエストロ”小林研一郎 (特別客演指揮者) と、ベルリン・フィルの首席クラリネット奏者として活躍する世界的スターのアンドレアス・オッテンザマーが競演。名匠と新星、二人が高い次元で作り出す熱い音楽に期待が高まる。7月の週末の午後、小林の熟達のとクツとオッテンザマーの名人芸により、東京芸術劇場の客席のボルテージは最高潮へと達するだろう。

ドイツ・ロマン派を代表するウェーバーの2曲と、チェコ国民楽

派ドヴォルザークの傑作交響曲をお届けする。冒頭に演奏するのは、ウェーバーの歌劇「魔弾の射手」序曲。幻想的な序奏にはじまり、ホルンの牧歌的な調べとクラリネットや弦楽器の美しいメロディが次々と登場する。小林のタクトが歯切れの良いリズムを生み、最後は歓喜のテーマをドラマティックに歌い上げる。

2曲目は、ウェーバーのクラリネット協奏曲第1番。クラリネットの魅力を存分に伝えてくれる名曲だ。広い音域を軽やかに駆け巡る第1楽章に続き、第2楽章では柔らかく温かな音色が夢見る美の極致へと誘う。軽快な第3楽章では、独奏による息もつかせぬ名人芸が聴衆を釘付けにするだろう。なお、オッテンザマーは同曲を今年8月にザルツブルク音楽祭でも演奏する。世界を魅了する彼の変幻自在な音色をご堪能いただきたい。

後半には、ドヴォルザークの交響曲第8番を演奏。小鳥のさえずりなどの自然が描写され、のどかな田舎風の素朴さを持った名曲として広く親しまれている。ボヘミアの民俗的なメロディと快活なリズムが特徴だ。トランペットのファンファーレで始まる終楽章では、弦楽器が憂いを帯びた旋律を奏でた後、次第に高揚して金管楽器が華々しいサウンドを披露。最後は畳み掛けるように締めくくり、興奮のフィナーレを迎える。小林が一つ一つのフレーズに魂を吹き込み、ドヴォルザークの名旋律をたっぴりと歌い上げ、温かな感動へと導くだろう。

アンドレアス・オッテンザマー (クラリネット)

甘い音色と完璧なテクニックで聴衆を魅了する世界的名手。1989年生まれ。10歳からウィーン国立音楽大学にてチェロを学んだ後、2003年からクラリネットに転向。09年、米国ハーバード大学在学中、ベルリン・フィル・アカデミーに入学。ベルリン・ドイツ響首席奏者を経て、11年弱冠21歳にしてベルリン・フィル首席奏者に就任。ソリストとして、ヤンソンス、ラトル、ネルソンスらの指揮で、ベルリン・フィル、ウィーン・フィルなどと共演。室内楽では、ペライア、アンスネス、ヨーヨー・マらと共演し、アンサンブル・ウィーン＝ベルリンのメンバーとしても活躍。スイスのビュルゲンシュトック音楽祭の芸術監督も務めている。録音はドイツ・グラモフォンやデッカからリリースし、高い評価を受けている。15年エコー・クラシック賞を受賞。

ANDREAS

OTTENSAMER
CLARINET

©Katja Ruge/Decca

読売日本交響楽団 第218回土曜マチネーシリーズ

2019年 **7月6日** (土) 14時開演
S ¥7,500 / A ¥5,500 / B ¥4,500 / C ¥4,000

東京芸術劇場 コンサートホール (池袋)

東京都豊島区西池袋1-8-1 Tel. 03-5391-2111

●JR・西武池袋線・東武東上線・東京メトロ「池袋」駅西口より徒歩2分 (*駅地下通路2b出口と直結しています)

【観客】東京芸術劇場には一時託児施設があります (公演1週間前までに予約)。わらべうた0120-415-306 (予約受付: 平日9時-17時)

【学生券】学生の方は、開演15分前に残席がある場合、¥2,000で入場できます (要学生証/25歳以下)。ただし席を選ぶことはできません。開演1時間前から受付で整理券を配布します。

【都合により曲目、出演者等が一部変更になる場合もございます。あらかじめご了承ください。】 ■未就学児童のご入場は、固くお断りいたします。

読響チケットセンター 0570-00-4390

*10時-18時・年中無休

読売日本交響楽団 第218回日曜マチネーシリーズ

2019年 **7月7日** (日) 14時開演
S ¥7,500 / A ¥5,500 / B ¥4,500 / C ¥4,000

読響チケットWEB <http://yomikyo.pia.jp/>

*座席選択可/チケット郵送料無料

プレイガイド

チケットぴあ 0570-02-9999

東京芸術劇場ボックスオフィス 0570-010-296